

投信レンズ

～「貯蓄から投資へ」の第一歩～

埼玉大学 経済学部

河原 伸太郎 阿部 綾華 五十嵐 安美 諸見里 健四郎 米元 綾音

投信レンズとは？

つみたてNISA対象商品に限定した

初心者向けの新しい投信説明資料



目次

1. テーマ設定の背景
2. 提案
3. 課題
4. 今後の展望

1. テーマ設定の背景

「貯蓄から投資へ」

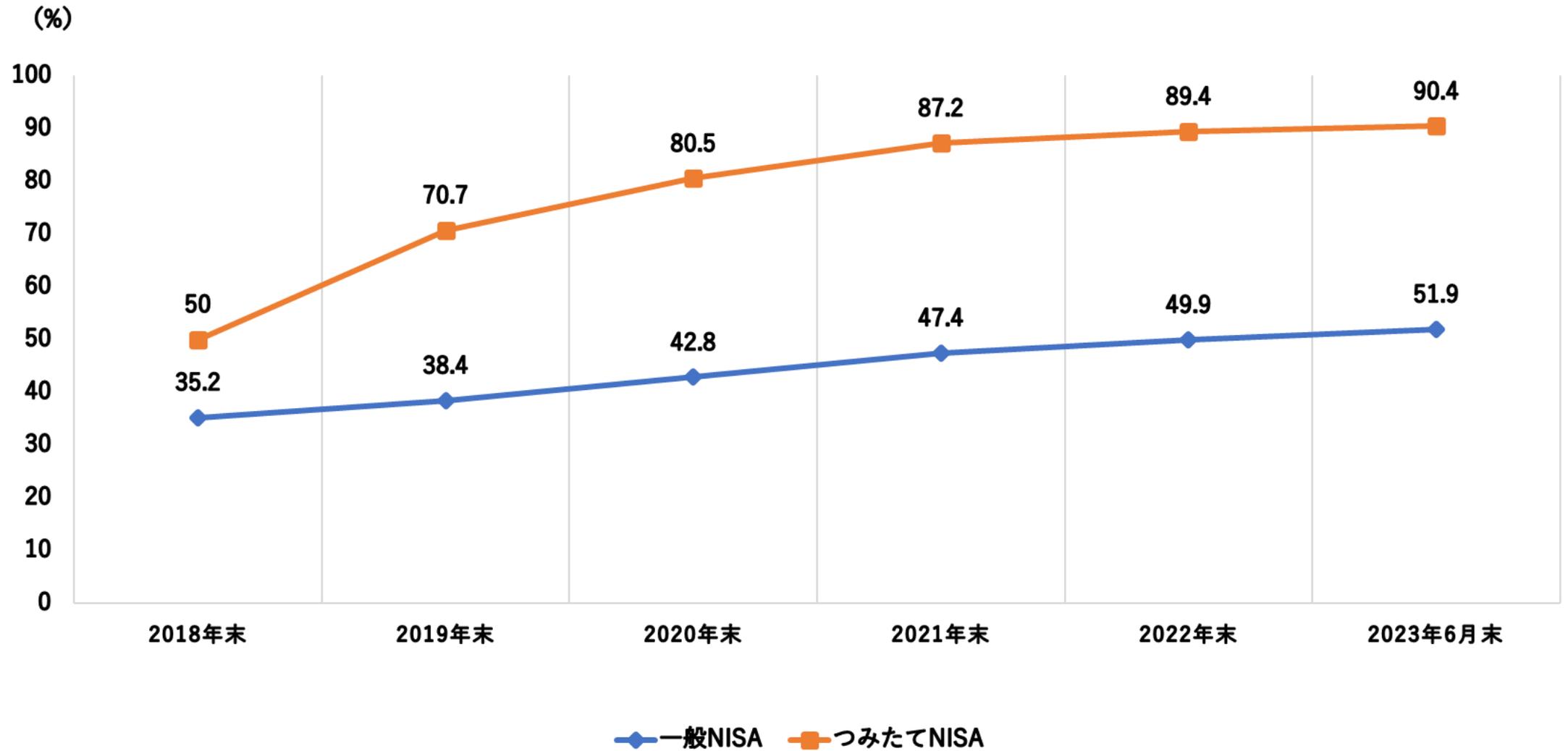
幅広い年代の
多様な立場にある人々が
投資に関わる必要がある！

誰でも簡単に投資を始めることができる
「入口」が必要



NISA

NISA口座開設者における投資未経験者の割合の推移



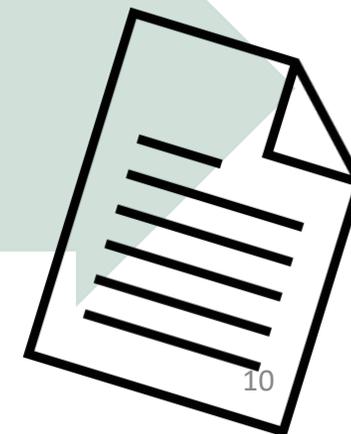
現状の投資信託に関する説明資料

交付目論見書

- 分量が多い
- 視認性が低い
- 構成が複雑

重要情報シート

- 図が少ない
- 作成・公表は任意である



初心者が投資を行うにあたってぶつかる壁

①投資商品に対する知識不足

②難解な投資説明資料



⇒投資初心者の知識不足を補う仕組みが整っていない

2. 提案

投信レンズ

投信レンズの特徴

①HTML形式による電子交付

②文章の平易化と簡略化

③グラフやインフォグラフィックスを用いた視覚的な理解促進

④商品間の比較を容易にする情報の提供

⑤交付目論見書を補完する内容

投信レンズの特徴

①HTML形式による電子交付

文字の最適化

グラフに浮き出る情報
→理解度UP・
能動的に情報収集

投信レンズの特徴

②文章の簡略化と平易化

商品性の理解に
必要な情報だけを
抽出

- ・ 簡単な言葉
- ・ 用語集(投資信託協会)へのリンク

投信レンズの特徴

③ グラフやインフォグラフィックスを用いた視覚的な情報

- ・ **イメージがしやすくなる**
(例：為替ヘッジの仕組み)
- ・ **一目見て全体の情報が手に入る**
(例：投資対象地域はどこなのか)

投信レンズの特徴

④商品間の比較を容易にする情報の提供

- ・ 投信レンズ作成は**義務**
- ・ つみたて投資例や、
手数料のグラフ

容易に比較可能！

投信レンズの特徴

⑤ 交付目論見書の補完的役割

→ 重要度の高い情報だけを集めることができる

投信レンズ + 交付目論見書

投信レンズ：4つの構成要素

1. 運用実績

2. 手数料

3. 対象投資信託の特色

4. 投資リスク

実際の投信レンズを見てみよう！

1. 運用実績

1. 運用実績

基準価額・総資産の推移 2018/10/31(設定日)~2023/7/11



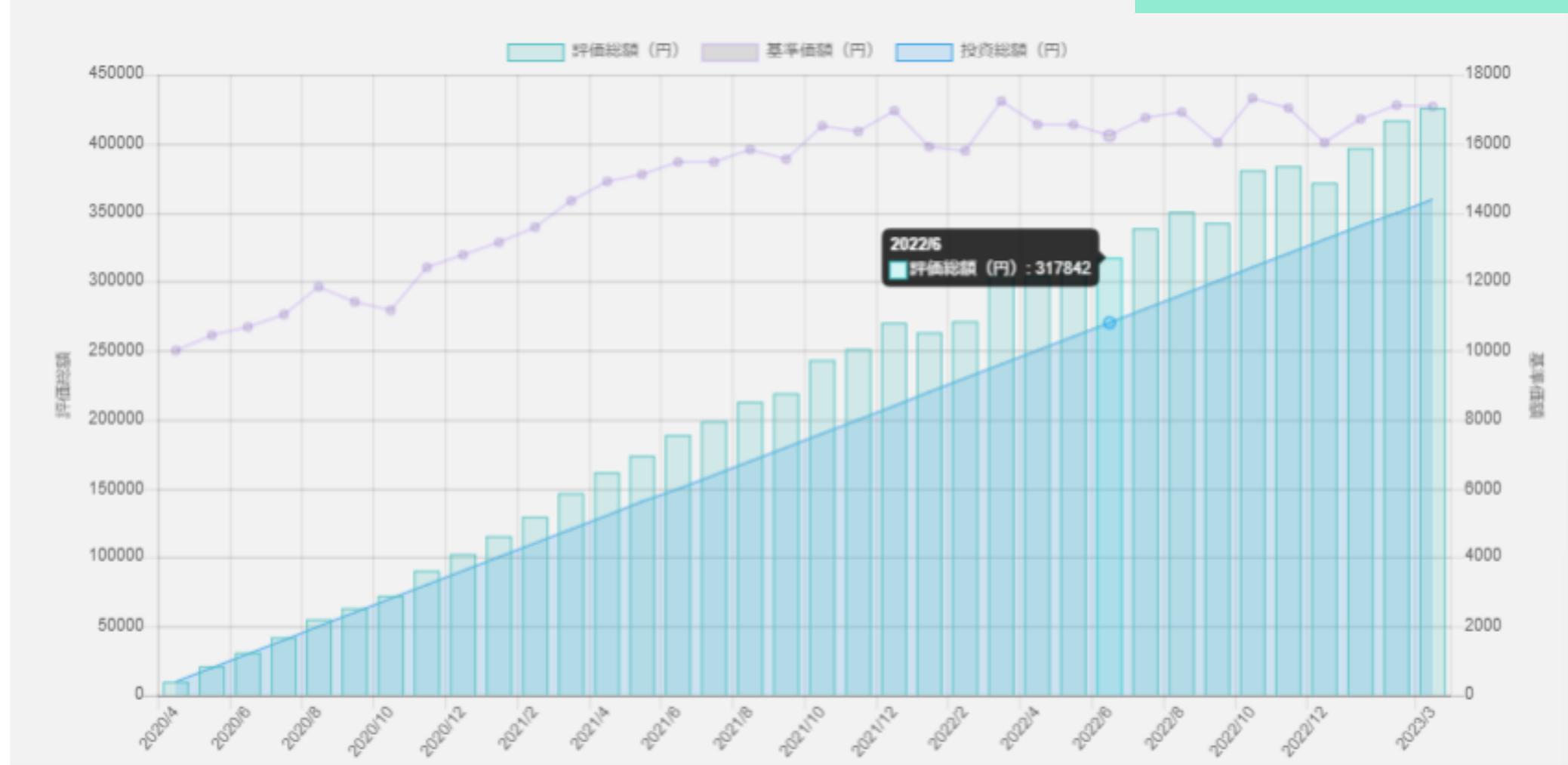
カーソルを合わせると表示される

1. 運用実績(つみたて投資例)

つみたて投資例

2020/4-2023/3までの3年間、毎月1ヶ月当たり10000円ずつ投資した場合の価格の評価額と投資額の推移の例

オリジナル!



2. 手数料

2. ファンドの費用・手数料

投資家が直接的に支払う費用

購入時手数料：ありません

信託財産留保額：ありません

投資家が信託財産を通じて間接的に支払う費用

運用管理費用（信託報酬）

年率 0.11330%

(税抜年率 0.1030%)

* 信託報酬は投資信託の残高に係る費用です

* 信託報酬はファンドの純資産額に応じて変動します。

その他費用・手数料

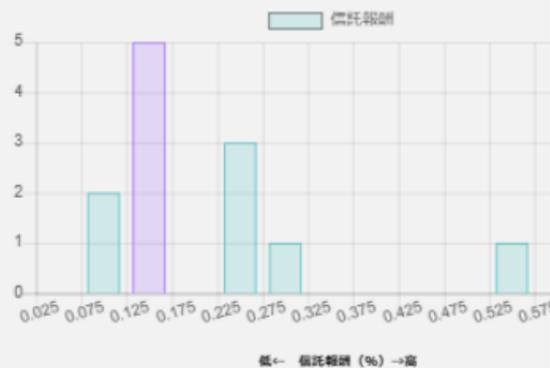
信託報酬のほか以下の費用や手数料を信託財産を通じて負担します

- ファンドの監査費用
- 有価証券の保管、売買にかかる手数料
- その他事務費用 など

信託報酬の分布

(MSCI オールカンントリー・ワールド・インデックス)

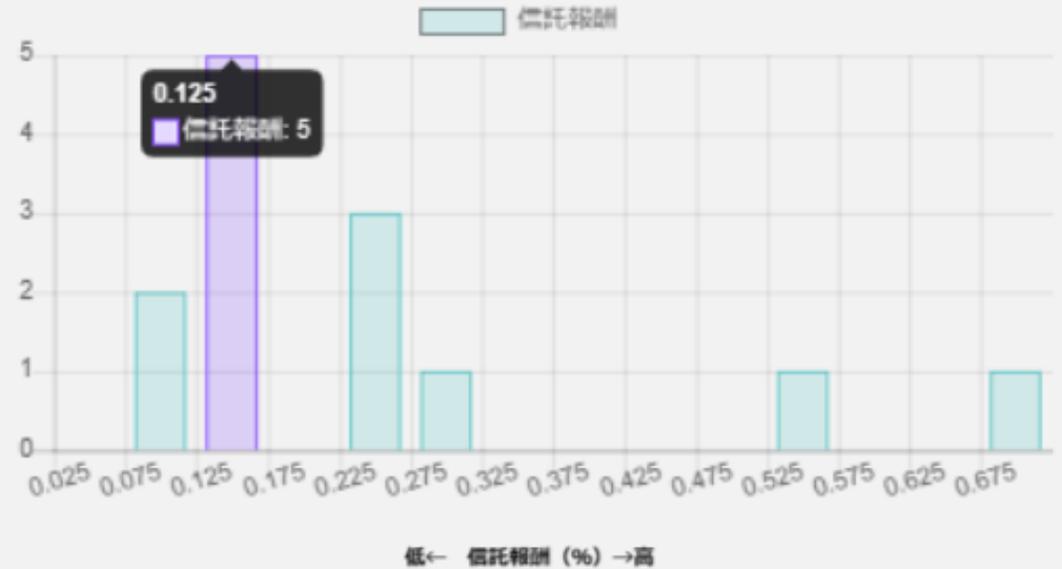
上記指数を採用している13個のインデックス投資信託の信託報酬のデータを作成



信託報酬の分布

(MSCI オールカンントリー・ワールド・インデックス)

上記指数を採用している13個のインデックス投資信託の信託報酬のデータを作成



信託期間	無期限(2018年10月31日設定)
繰上償還	以下の場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。 ・受益権の口数が10億口を下回るようになった場合 ・対象インデックスが改廃されたとき ・ファンドを償還させることが受益者のため有利であると認めるとき ・やむを得ない事情が発生したとき
決算日	毎年4月25日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回の決算時に分配金額を決定します。(分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。) 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
信託金の限度額	2兆円
その他 公告	原則として、電子公告の方法により行い、ホームページ(https://www.am.mufg.jp/)に掲載します。
運用報告書	毎決算後および償還後に交付運用報告書が作成され、販売会社を通じて知れている受益者に交付されます。
	課税上は、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、「NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者投資)

3. 対象投資信託の特色

クリックすると...

用語の説明サイトへ！

為替ヘッジの有無



為替ヘッジはありません

投資パフォーマンスは為替相場の影響を受けます。

▼ 用語集

用語を検索 :

[あ](#) [か](#) [さ](#) [た](#) [な](#) [は](#) [ま](#) [や](#) [ら](#) [わ](#) [アルファベット](#)

為替リスク

参照語

[為替ヘッジ](#)

外貨建の資産に投資することにより為替相場の変動を受けるリスクのこと。為替レートは各国の金利動向、政治・経済状況や為替市場の需給その他の要因により変動する。為替が大きく変動した場合、外貨建て資産を多く組入対象としているファンドはその影響も大きい。投資信託には為替リスクを小さくするために為替ヘッジという手法を使って運用するファンドもある。また、一つのファンドで「為替ヘッジあり（為替の影響を受けにくいタイプ）」と「為替ヘッジなし（為替の影響を受けるタイプ）」から選択できる場合もある。

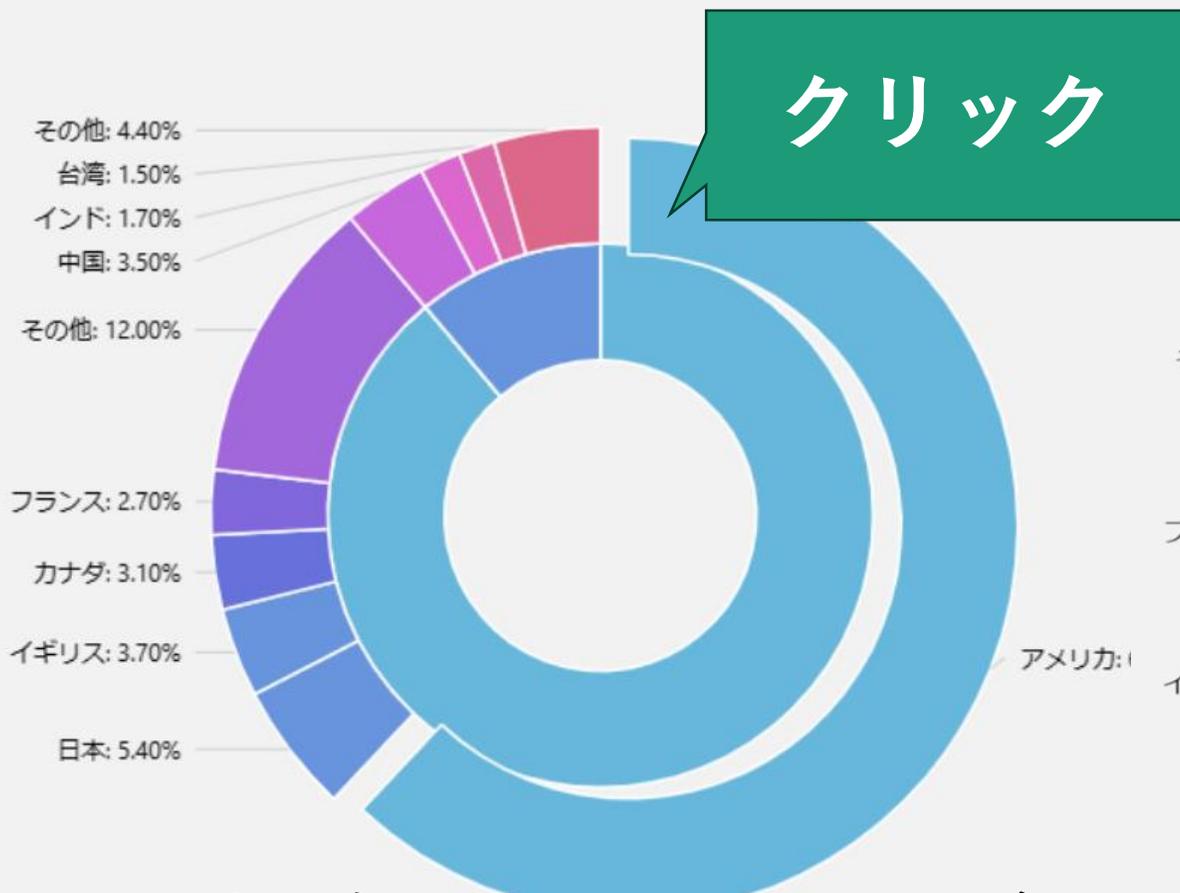
3. 対象投資信託の特色

地図上で投資地域とその割合が閲覧可能！

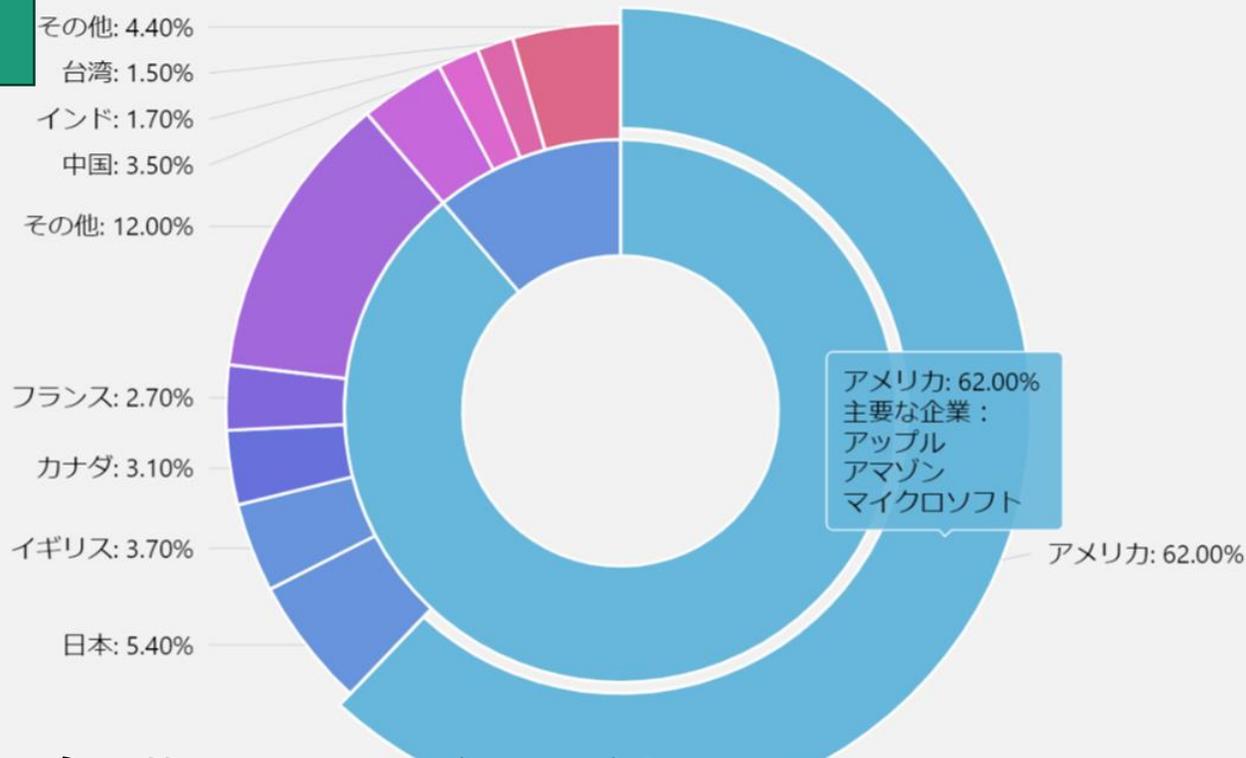


3. 対象投資信託の特色

インデックス対象国の構成割合および、主要銘柄



インデックス対象国の構成割合および、主要銘柄



投資している国の主要企業が閲覧可能に！

4. 投資リスク

カーソルを合わせると...

価格変動リスク

為替変動リスク

5つの
リスク

信用リスク

流動性
リスク

カントリー・
リスク

価格変動リスク

株式は企業の活動や市況の状況によって価格が変動します。投資ファンドが株式を保有している場合、株価が下がるとファンドの価値も下がる可能性があります。

為替変動
リスク

信用
リスク

流動性
リスク

流動性
リスク

カントリー・
リスク

投資リスクの詳細が表示される！

重要情報シート・交付目論見書・投信レンズ の違い

	重要情報シート	交付目論見書	投信レンズ
分量	2ページ	10ページ～	
専門用語	多い	多い	少ない
図やグラフ	少ない	多い	多い
形式	PDF	PDF	HTML
義務化	任意	義務	義務

3. 提案の課題

1

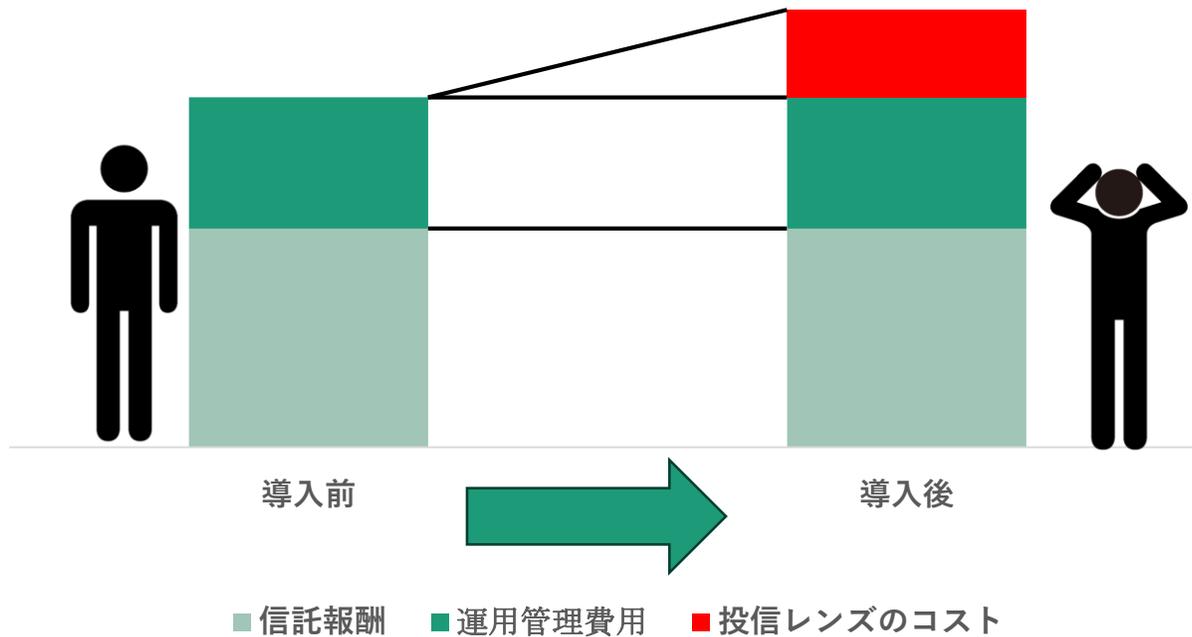
投信レンズ導入による投資信託のコスト上昇

2

投信レンズによる情報の誤認

① 投信レンズ導入による投資信託のコスト上昇

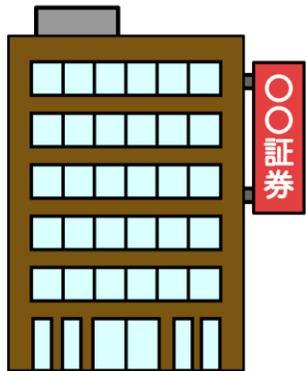
投資信託のコスト



情報開示のコストを投資家が負担

- 投資信託のコスト上昇
- 投資家の利益を損なう可能性

①投信レンズ導入による投資信託のコスト上昇



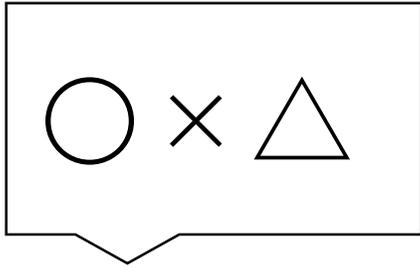
解決方法

経費の把握やコスト転嫁の制限

テンプレートやフォーマットの作成

記載項目のアップデート

② 投信レンズによる情報の誤認



投資信託説明書
(交付目論見書)
使用開始日 2023.9.8



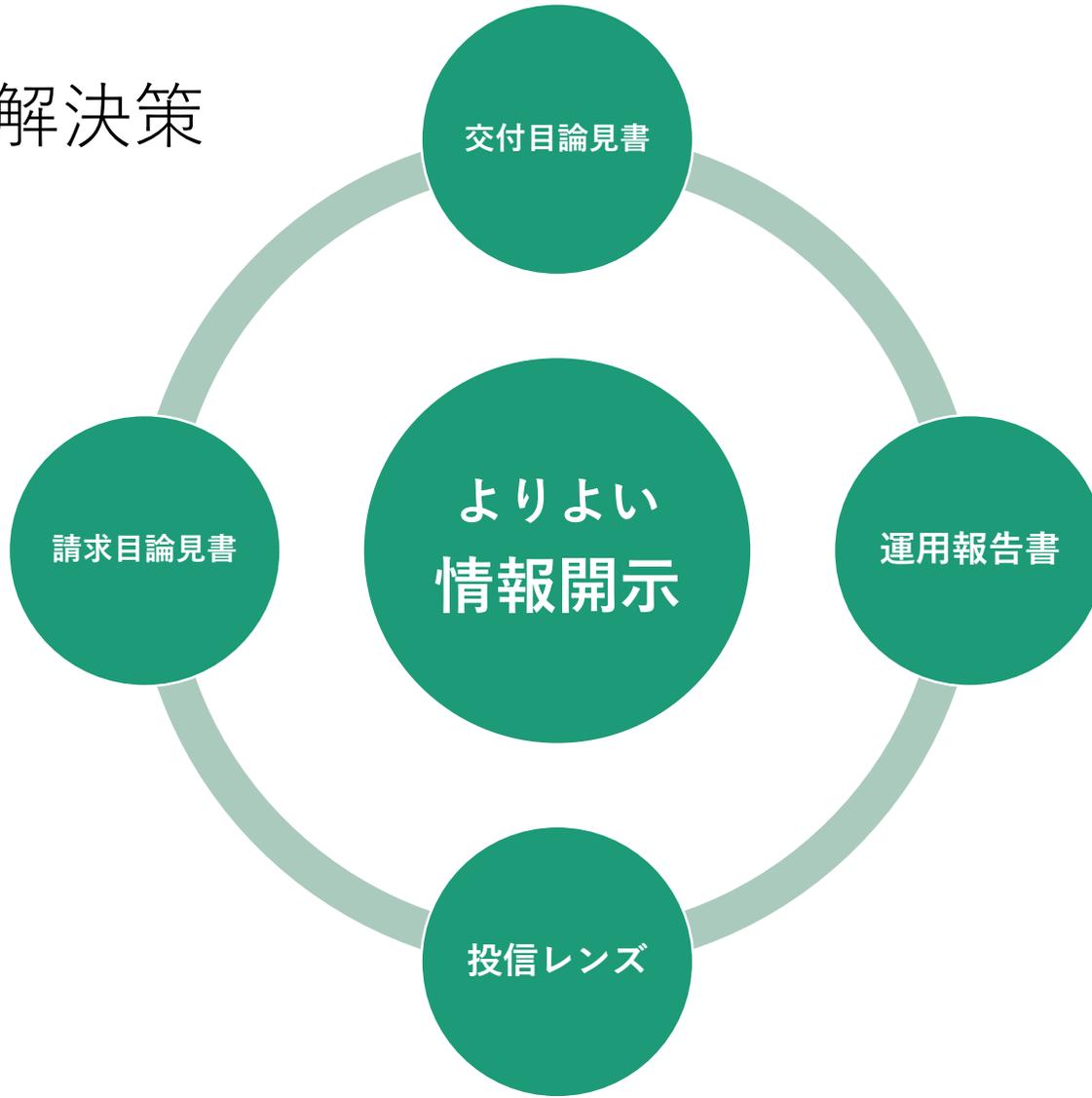
 ファンドのiDeCo取扱先は「eMAXIS Slimシリーズ」iDeCo取扱先」まで
https://www.am.mufg.jp/service/ideco/sales_slim.html

eMAXIS Slim 全世界株式(オール・カントリー)

投信レンズに傾倒して誤認
してしまう可能性がある！

②投信レンズによる情報の誤認

- 解決策



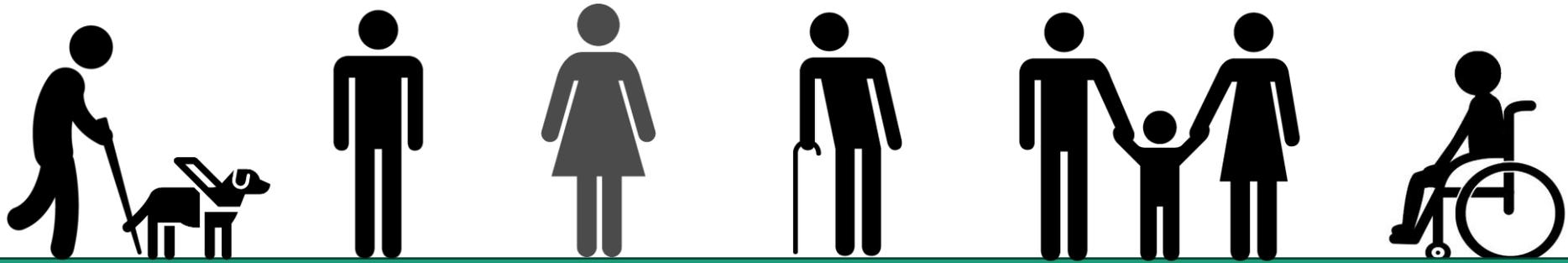
各情報開示の連携

投信レンズによる補完的な役割

- よりよい情報開示へ
- 各投資家に適した投資判断を促す



4. 今後の展望



投信レンズ



誰一人、取り残さない情報開示を投信レンズが担う必要がある

投信レンズが金融市場を支える土台になる！

経済成長

成長と投資の好循環！

資産形成の成功

金銭的不安の解消！

企業にとってより魅力的な金融市場に！

金融市場の活性化

「貯蓄から投資へ」の実現！

個人投資家の参入

金融リテラシー教育との連携
投資環境の整備

投信レンズ



ご清聴ありがとうございました

〈参考引用文献〉

規制改革推進会議 経済活性化ワーキンググループ、「金融庁提出資料」、内閣府、2021年12月2日、(https://www8.cao.go.jp/kisei-kaikaku/kisei/meeting/wg/econrev/211202/211202keizaikasseika_02.pdf、2023年8月2日閲覧)

金融庁、「『重要情報シート』を作成・活用する際の手引きについて」、金融庁、2021年5月12日、(<https://www.fsa.go.jp/news/r2/singi/20210512.html>、2023年10月21日閲覧)

金融庁、「『目論見書制度の見直し』についての論点」、金融庁、2008年11月5日、(https://www.fsa.go.jp/singi/singi_kinyu/dai1/siryoku/20081105-2/02-1.pdf、2023年8月29日閲覧)

首相官邸、「『資産所得倍増元年-貯蓄から投資へ』岸田総理からのメッセージ」、首相官邸、2023年6月30日、(https://www.kantei.go.jp/jp/101_kishida/discourse/20230630contribution.html、2023年8月6日閲覧)

投資信託協会、「投資信託に関するアンケート調査報告書」、投資信託協会、2023年1月、(https://www.toushin.or.jp/files/statistics/87/2023011722022_.pdf、2023年8月31日閲覧)

投資信託協会、「用語集」、投資信託協会、(<https://www.toushin.or.jp/words/keyword/3831/>、2023年10月26日閲覧)

日本証券業協会、「NISA口座開設・利用状況調査結果（2023年3月31日現在）について」、日本証券業協会、2023年3月31日、(<https://www.jsda.or.jp/shiryoshitsu/toukei/files/nisajoukyou/nisaall.pdf>、2023年6月21日閲覧)

日本証券業協会、「投資信託の交付目論見書はどこをチェックすればいいの?」、投資の時間、日本証券業協会、(<https://www.jsda.or.jp/jikan/qa/051.html>、2023年8月23日閲覧)

三菱UFJ国際投信、「eMAXIS Slim 全世界株式（オール・カントリー）投資信託説明書（交付目論見書）」、三菱UFJ国際投信、2023年5月11日、(https://www.am.mufg.jp/pdf/koumokuromi/253425/253425_20230511.pdf、2023年8月21日閲覧)